
フィリピン台風 30 号を対象とした「国際緊急共同研究・調査支援プログラム(J-RAPID)」 提案募集のお知らせ

このたび、JST は、フィリピン科学技術省(DOST)と協力して、平成 25 年にフィリピンで被害をもたらした台風30号に関連した緊急を要する研究・調査を支援する「国際緊急共同研究・調査支援プログラム(J-RAPID)」を実施します。

これは、台風 30 号にに関連し緊急に実施する必要がある研究・調査を日フィリピン研究者が合同で実施する際に、JST が日本側研究者を支援するものです。

詳細につきましては募集専用ホームページをご覧ください。

http://www.jst.go.jp/sicp/announce_rapid_3rd_2014.html

■募集分野

フィリピンにおける台風30号被害に関連した研究・調査で、その遂行に緊急性があるもの。例えば、

- (i)台風被害防止に関する研究・調査
- (ii)強風、大波、洪水、高潮等による被害の実地調査
- (iii)現地調査に基づく台風の物理的機構の解明
- (iv)巨大台風による高潮発生メカニズム
- (v)建物や橋などのインフラの被害調査
- (vi)ライフライン(道路、電気、ガス、上下水道等)のタイムスパン(短期・中期・長期)に応じた応急対策・復旧計画の検討
- (vii)公衆衛生・感染症

などが挙げられます。これらに限らず他の科学技術分野、研究調査内容でも、フィリピン側研究者と合意ができたものは応募可能です。

また、DOST 側では特に下記テーマに関して先行して募集/研究を行っており、これらのテーマに関してフィリピン側研究グループに協力できる日本側研究者も募集いたします。

- (1)既存建築物(避難所、オフィス等)の耐震、耐強風(風速 350km/h レベル)改造・補強に関する研究・調査
- (2)災害時に別用途に活用するための既存建築物の改造や、別用途への転用を考慮した新規建設に関する研究・調査(例:体育館や多目的ホールを災害発生時に避難センターにするための改造など)

- (3) フィリピン各省庁保有の地理情報システム(GIS)の統合化に関する研究調査、衛星を利用した被災地観測
- (4) 遠隔医療用機器(医療データの収集・記録・通信)とその適用に関する研究、災害時の医療ホットライン情報システム
- (5) 損傷した試料での DNA 鑑定

■ 支援規模

共同研究・調査課題が採択された場合、日本側研究者は半年～1年間で300万円程度の委託研究・調査費を受け取ることができます。

■ 応募締切

平成26年2月21日(金)から募集を受け付けます。受理後順次審査を行い、採否を決定・通知します。

特に応募締め切り日は設定しませんが、支援可能件数に達し次第受付を終了しますので、できるだけ早く提案を提出してください。なお、応募受付状況は本ホームページにて更新いたしますのでご応募前にご確認ください。

■ お問い合わせ先

独立行政法人 科学技術振興機構(JST)

国際科学技術部

E-mail: rapid@jst.go.jp (募集専用)

TEL 03-5214-7375

担当: 村上または中島